

飛鳥・藤原を世界遺産に

飛鳥時代の仏教寺院を体感する

641年に蘇我氏の一族である蘇我倉山田石川麻呂の発願により造営された山田寺。中門、塔、金堂、講堂が一直線に並び、百済の寺院にもみられる配置をしており、東アジアでの国際交流の一端がうかがえます。講堂跡には現在も法灯を継ぐ寺院が現存し、中門、回廊、塔、金堂の跡は史跡公園として整備されています。

「YAMATO桜井周遊ARガイド」で現代によみがえる山田寺を見てみよう！

ポイント①

藤原道長も絶賛したとされる古代寺院山田寺の壮大な姿を体感できる！

1 現地でアプリを起動しマップで「山田寺跡」を選択

2 設置されているマーカーを読み込む

3 3DCGで再現された山田寺が出現！

ポイント②

音声付きガイドを聴くことができ、山田寺のことをより深く学べる！

山田寺跡を訪れる際は、アプリの事前ダウンロードがおすすめ！



アプリ（無料）のインストールはこちらから！

App Store | Google Play

【ARガイドに関する問い合わせ先】
桜井市教育委員会事務局 文化財課 ☎0744-42-6005



(山田寺跡)



所 桜井市山田
車 奈良交通バス「山田寺」下車
南へ200m
明日香周遊バス(赤かめ)
「明日香奥山・飛鳥資料館西」
下車 東へ800m

世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会公式サイト

問 県世界遺産室 ☎0742-27-2054

日頃の備えと健康管理

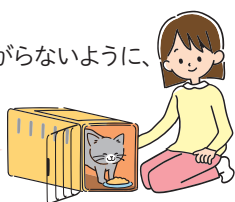
ペットの日頃の備えが防災につながります



ペットのしつけ

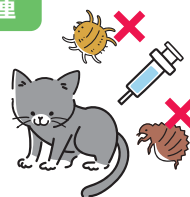
ケージなどの中に入ることを嫌がらないように、日頃から慣らしておきましょう。

扉を開けたまま、おやつやフードを入れた食器を置いて、ケージの中で食べさせる。



ノミ・ダニ予防薬、ワクチン接種

災害時は避難所や預け先などで家族以外の人や他のペットと共同生活する場合があります。ノミ・ダニの予防やワクチン接種など日頃の健康管理を行いましょう。



「もしも」の備え ～マイクロチップを装着しましょう～

マイクロチップは外れることのない「小さな名札」です



動物病院などで装着してもらえます。一度装着すると首輪や名札のように外れ落ちる心配はありません。

迷子や災害などでペットと離れ離れになったときに飼い主の元へ戻る確率が高まります。

犬・猫にマイクロチップを装着した場合は、必ず情報を登録しましょう。保護されたとき、マイクロチップを専用リーダーで読み取り、データベースで検索すると飼い主の情報がわかります。

犬と猫のマイクロチップ情報登録サイト



【コールセンター】
☎03-6384-5320

迷子札もつけましょう

犬や猫が迷子になった場合に備え、迷子札をつけましょう。



もしも迷子になったら

飼っている動物がいなくなったら、すぐに最寄りの保健所と警察署へ連絡をしましょう。



問 県うだ・アニマルパーク振興室 ☎0745-83-0807 FAX 0745-83-2573